

# 地域を育てる

## 営農経済戦略

2024年11月21日(木) 13:00~17:30 22日(金) 9:00~12:00

会場 JAビル2階3202・3203会議室 (全農) オンライン参加可(zoom使用)

### 開催趣旨

農業者・農家・農地の減少および農業労働力の高齢化が進んでいる。この事態は、長期にわたって推進されてきた少数の大規模経営の育成と農地流動化という農業政策の結果である。例えば、農地流動化が進展しても、農地が減少している地域がほとんどである。その要因の一つは、大規模経営だけでは離農農家の農地を全てカバーできないからである。少数の大規模経営が存立しても、地域の農業生産額・所得が減少している。

以上の状況のもとで、農村地域では農業・農村の持続性の確保が求められている。持続性の確保には、一人勝ちや画一的(one fits all)な地域営農システムから脱却し、多様な年齢層と経営体の共存とそれぞれの条件に則した農業経営の発展と所得確保のシステムの確立が求められる。つまり、「地域を育てる営農経済戦略」である。

JA全中には「多様な担い手と農協の役割」で問題提起をお願いした。加えて水田、園芸、果樹、中山間地帯からそれぞれ特色ある営農経済戦略の実践報告を受け、総合討論で実りある意見交換を行ないたい。

### 発表者と発表内容

#### 基調報告 多様な担い手と農協の役割

JA 全中

大規模法人や集落営農から自給的・小規模農家まで、また男女老若の多様な経営体が織りなす地域農業システムの形成が、持続的な農業・農村をつくるためには欠かせない。そのためにJAは何をしていくべきか。

#### 事例報告① 「水田3倍活用」戦略の実践

JA 遠州中央

管内にある森町では、水稲-レタス-トウモロコシの輪作に耕畜連携を加えた「水田3倍活用」を確立。通年農業と継続的な雇用を産み出し、JA青年部が復活するなど若者を惹きつける魅力ある農業が営まれている。

#### 事例報告② 持続可能な農業を支えるための「真のモデル農村」づくり

JA 大潟村

かつて大規模経営のモデルとされた大潟村。現在、入植時の15haのまま家族労働力で持続している経営が4割、離農が少なく耕作放棄地もない。環境配慮とコスト削減の取り組みもめざましい。そのありようから農業・農村の持続的発展の方向を考える。

#### 事例報告③ 市田柿GI戦略を核とする、地域営農総合振興戦略プランの展開

JA みなみ信州

農家の高齢化のなかで特産「市田柿」を維持すべく、集荷、製造、パッケージをこなす「市田柿工房」を整備。さらに長野県第1号のGIを取得し、行政とも連携してブランド向上や輸出を含めた販売拡大に地域一体で取り組んでいる。

## プログラム

### 1日目 11月21日(木)

- 12:00～ 受付
- 13:00～ 開会挨拶  
◆黒澤 賢治 (JA総合営農研究会 代表委員)
- 13:15～ **基調報告**  
**多様な担い手と農協の役割**  
◆加藤純 (JA全中 JA改革・組織基盤対策部長)
- 14:10～ **事例報告①** JA遠州中央  
**「水田3倍活用」戦略の実践**  
◆伊藤忠彦 (JA遠州中央 常務理事)
- 15:25～ **事例報告②** JA大潟村  
**持続可能な農業を支えるための「真のモデル農村」づくり**  
◆小林肇 (JA大潟村 代表理事組合長)
- 16:30～ 質疑・討論  
◇ ◇ ◇ ◇ ◇
- 18:00 交流懇親会 (別会場：デイナイト大手町店) ～20:00

## 参加費

- 会員：17,000円 (交流懇親会費込み)  
正会員・生産法人会員・団体特別会員で2人目以降は14,000円  
非会員：22,000円 (交流懇親会費込み)
- ※ 事前にお振り込みください (振り込み先は別途お知らせします)。  
または当日会場にて現金でお支払いください。  
※ 参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自でご手配ください。

## JA総合営農研究会に入会し、実践交流しませんか？

- ☆ 入会案内パンフレット (入会申込書付) がございますので、お問い合わせ・ご請求ください。  
TEL：048-233-9336 (農文協 担当：嶋川)
- ★ 年会費  
正会員 20,000円 \* 単位農協 (県1JAについては地区事業本部等)  
生産法人会員 5,000円 \* 集落営農、農業生産法人  
特別会員 団体50,000円 個人5,000円



JA総合営農研究会ホームページ  
[ja-it.net](http://ja-it.net)

次回の公開研究会案内や過去の報告内容などを掲載しています。

### 2日目 11月22日(金)

- 9:00～ **事例報告③** JAみなみ信州  
**市田柿GI戦略を核とする、地域営農総合振興戦略プランの展開**  
◆原博文 (JAみなみ信州 営農部次長)
- 10:05～ **3事例のまとめとコメント**  
◆仲野隆三 (JA総合営農研究会 副代表委員)
- 10:35～ 総合討論
- 11:55 閉会・連絡事項 (～12:00)



## 参加お申し込み方法

JA総合営農研究会ホームページ上の参加申し込みフォームからお申し込みいただけます。

JA総合営農研究会

検索



申し込み締切 2024年11月15日(金)

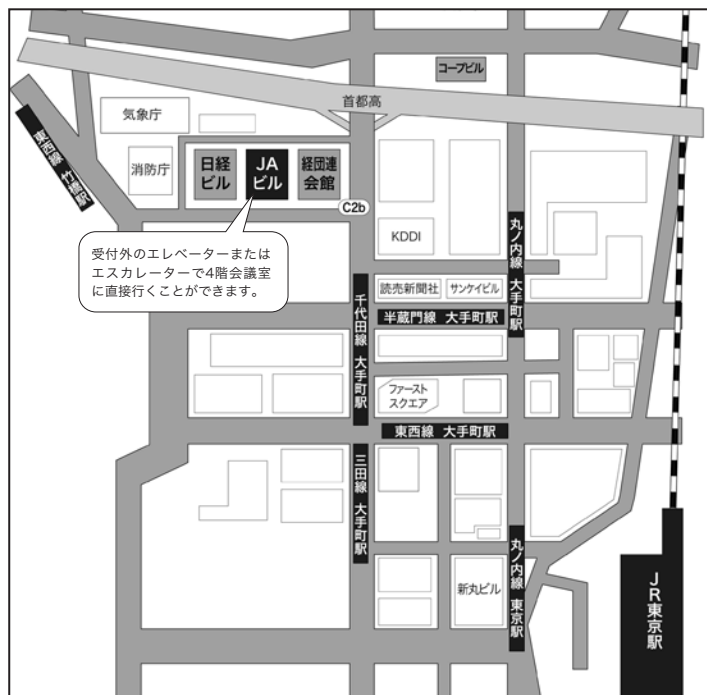
※ 締切日を過ぎてのお申し込みは、事務局宛で相談ください。

問い合わせ先：JA総合営農研究会事務局  
(一社) 農文協 経営局文化活動グループ内  
TEL: 048-233-9336 E-mail: info@ja-it.net

## 会場

JAビル2階3202・3203会議室 (全農)

▶ 地下鉄「大手町」駅 (地下1階にてC2b出口直結)



※ **JA総合営農研究会** JA営農経済事業の改革と地域農業の活性化に向け、全国のJA役員が課題を共有しながら先駆的事例を双方向に学びあう実践的な研究会。2001年に「JA-IT研究会」として設立。約40のJAを正会員とし、年3回の「公開研究会」と年1回の「人材養成セミナー」などを中心に活動する。2019年6月に「JA総合営農研究会」と改称した。